

令和5年3月23日

瀬戸市長 伊藤保徳 様

## 提 言 書

～令和5年度予算執行に向けて～

瀬戸市議会では、予算決算委員会において、令和5年度の一般会計、特別会計及び企業会計の全7会計の予算審査を行い、その中で新年度における適切な予算執行に向けての提言を行うべく議論を重ねてまいりました。

その結果、新年度予算執行に伴い、留意していただきたい事項について、別紙のとおり取りまとめましたので、提言いたします。

瀬 戸 市 議 会

## 【提言事項】

### 一般会計に関すること

- (1) プラスチック製容器包装をはじめとした資源物の分別回収方法について

本市では令和4年10月からプラスチック製容器包装の分別回収が開始され、今年9月からは一般廃棄物（ごみ）処理費用有料化が導入される。

こうした中で、資源ごみの分別収集やごみ減量に対する市民意識も高まり、可燃ごみの量が減少しているとの報告がある。

一方で市民からはプラスチック製容器包装の回収回数を増やし、各町内の集積場所やリサイクルセンターの増設を求める声が上がっている。

本市のごみ減量施策の成果を確実に出せるよう推進するためには、さらに市民の協力が不可欠であることから、このような市民の声に応える施策の強化が必要である。よって、次の3点を提言する。

- 1 プラスチック製容器包装の回収回数を増やすこと。
- 2 利便性の向上に繋がるよう、各町内の集積場所の増設を図ること。
- 3 市域の広さを勘案し、資源回収の拠点の充実を図ること。

以上